



令和7年度 第2回 高校生介護技術コンテスト SAGATRM 概要

1 目的

福祉を学ぶ生徒が日頃の練習の成果を発揮し、他県で福祉を学ぶ高校生との交流を通じて、互いの技術や取り組み方を学び合い協働し、介護技術やコミュニケーション力、介護過程等の知識と技術を高めることを目的とする。

2 日時 令和8年1月17日(土) 13:00~17:00
1月18日(日) 9:00~12:00

3 場所 佐賀県在宅生活サポートセンター

4 参加校 学校法人東奥学園東奥学園高等学校(青森県)
学校法人松浦学園城北高等学校(熊本県)
佐賀県立神埼清明高等学校(佐賀県)

5 内容 競技① トレーニングマッチ食事介助
競技② トレーニングマッチ着脱介助
競技③ トレーニングマッチ排せつ介助
競技④ 3校ミックスマッチ

7 審査指導 高校福祉科教員4名(福岡県、佐賀県)

8 日程 令和8年1月17日(土)
9:00~ 会場設営
11:00~12:00 審査員打合せ
12:30~13:00 選手受付・更衣
13:30~14:00 開会説明・抽選・交流
14:00~14:40 競技①
7分審査×3校=25分 指導助言5分
14:40~15:20 競技②
同
15:20~16:00 競技③
同
16:10~16:50 競技④支援計画検討
16:50~17:00 諸連絡・更衣・解散

令和8年1月18日(日)
8:30~ 9:00 受付・更衣・説明
9:00~ 9:20 支援計画検討
9:20~ 9:45 ミックスマッチ巡目指導①
9:45~10:10 ミックスマッチ巡目指導②
10:10~10:35 ミックスマッチ巡目指導③
10:35~11:10 支援計画検討
11:10~11:40 ミックスマッチ(1チーム7分)×3チーム
11:40~12:00 写真撮影・諸連絡

トレーニングマッチ（食事、着脱、排せつ）

- (1) トレーニングマッチは、3種目とも3校の代表選手1名が、1人介護にて7分間実施。
- (2) 利用者役は神埼清明生徒。
- (3) エビデンス説明はない。
- (4) 3種目ともメジャメント3名、ジャッジメント1名で評価する。
全審査員は、競技後に審査内容について選手へ説明・助言する。
- (5) メジャメント・ジャッジメントの点数集計は当日までに行い、参加校へ開示する。
ただし、順位付け・表彰は行わない。全選手の点数は3校引率者に共有する。

【トレーニングマッチのプログラム】

- ①食事 東奥→城北→清明
※3人終了後に審査員から一言ずつ指導コメント、点数集計（以下同）
- ②着脱 城北→清明→東奥
- ③排せつ 清明→東奥→城北

3校ミックスマッチ

- (1) 3校3名が混合のチームに分かれる ※抽選による
Aチーム 東奥（ ）、城北（ ）、清明（ ）
Bチーム 東奥（ ）、城北（ ）、清明（ ）
Cチーム 東奥（ ）、城北（ ）、清明（ ）
- (2) 介護者2名と利用者1名に役割分担し、3人チームで課題の支援計画を考え、実技を行う。
例：介護者（城北、東奥）利用者（清明）
- (3) 競技は7分間。評価はジャッジメントによる。
- (4) 支援計画の検討時間は約60分。
3名で課題を話し合い、協働して実技（7分間）の流れをまとめ表現する。
- (5) 3名の指導者が25分ずつローテーションで実技巡回指導。（指導時間計75分）
指導者（大牟田：日高、城北：梅本、神埼清明：原）
- (6) 指導情報を整理分析し、支援計画を再検討、まとめ表現する。
- (7) 全審査員は、競技後に審査内容について選手へ説明・助言する。